

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年6月29日

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	能代市	代表者名	齊藤 滋宣
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0185-89-2189
担当者役職	主事	担当者氏名	戸松 亮太
住所	016-8501 秋田県能代市上町1番3号		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	本市のDX推進計画策定方針(案)について、文言の整理といった基本的な部分から、本市が掲げる課題や推進計画の位置付けなどといった内部的な部分まで、具体例を提示いただいたうえで、幅広くご助言いただきました。また、外部人材の登用、RPA、情報システムの標準化などといった具体的な施策についても、着手方法や基本的な考え方をご教示いただき、大変参考になりました。
アドバイザーへの要望事項	今後も引き続き、ご相談をさせていただきたく存じます。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (応募依頼より)	支援内容 (応募依頼より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年6月27日	支援・助言	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
			10時00分	12時00分	
				活動時間(分)	120

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	DX推進計画策定に向けた計画策定方針(案)について、DXや地域課題に精通した専門家からの助言をいただく機会がないこと。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	専門的な考えを取り込み、本市の特性や実情を踏まえた計画策定方針を策定する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	本市のDX推進計画策定方針(案)について、文言の整理といった基本的な部分から、本市が掲げる課題や推進計画の位置付けなどといった行政内部的な部分まで、具体例を提示いただいたうえで、幅広くご助言いただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容	本市における課題の設定方法、施策の評価方法などの見直し、抽象的な表現の修正ができました。	

(具体的にご記入下さい)		
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	計画策定方針の決定。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 計画策定方針(案)にご助言をいただいたのち、検討委員会の事前打合せを行ったため、アンケートを実施しておりません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	能代市DX推進計画の策定	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



